

5Gを活用して建設機械を遠隔操縦することで
人手不足の解消や効率的なオペレーションを目指します



提供価値

高速大容量

低遅延

多数端末接続

実証実験/PoC段階

- 低遅延な5Gを適用することで遠隔からリアルタイムに建設機械の操縦が可能になります。
- 5Gの高速大容量通信により高精細な映像を複数伝送することが可能になります。

概要

- 遠隔操作により建機を高精度で操作するためには低遅延な無線技術が求められ、低遅延な5Gが有効です。
- 複数の高精細な映像を5Gの大容量通信により伝送することで、建設機械の操作に必要な情報を取得することができます。
- 5Gを活用することでよりリアルな遠隔操作の実現を目指します。

コラボレーションパートナー

コマツとは、建設現場や鉱山などにおける現場作業の効率化を目指し、5Gを活用した建設機械の遠隔操縦分野において協働しています。

KOMATSU

本展示は(株)ソリトンシステムの

Zao-SH - Ultra Low Latency Mobile Encoder を使用しています

Soliton®

8

働きがいも
経済成長も

9

産業と技術革新の
基盤をつくらう